



大妻同窓会 埼玉だより

発行者 大妻同窓会埼玉
代表 矢野優子

発行日 2025年4月23日

印刷所 成文社印刷
さいたま市西区指扇246-8
電話 048(622)1311

大妻同窓会埼玉の皆様にはお健やかにお過ごしのことと存じます。昨年の総会には出席できず失礼いたしました。11月の「さいたま文学館」への文学・歴史散歩では皆様とお話をしながら楽しく過ごすことができました。暑さがいつまでも続いていた昨年でしたが、やっと秋らしくなった季節にこの行事に参加でき、企画していただいた役員の皆様に感謝申し上げます。大妻コタカ先生が鬼籍に入られてから早55年。大学生だった私がご葬儀に参列したことは今でも思い出されます。月日の流れる



ご挨拶
一般財団法人大妻コタカ記念会

会長 井上 小百合

のは本当に早いものです。大妻学院ではご命日の1か月前の12月3日に年祭を行い、その後コタカ先生、良馬先生の墓参を毎年続けています。学祖を敬い奉る精神がこうして継続していることはとても立派なことと、記念会を代表して参加するたびに感慨深く思っています。昨年の12月3日も例年通り55年祭が靖国神社の神官により執り行われました。その後の理事長のお話しでは「今大学、特に女子大は厳しい時代にあるが、宮司さんの祝詞の中にもあったように



総会は5月25日(日)です
大妻同窓会埼玉
代表 矢野優子

2025(令和7)年が明けました。そして春が来ました。皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年は新年早々に能登地震が起き、大きな被害が今だに爪痕として残されたままの状態です。そしてそれから自然災害が多く生じています。今年はそのような災害も起こらず、平和で穏やかな年であってほしいと願っています。

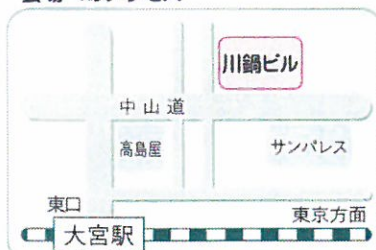
さて大妻同窓会埼玉は昨年大妻コタカ記念会法人設立50周年記念式典祝賀会に参加しました。そこで再度大妻のすばらしい歴史と着実に歩みを進めている現実を実感しました。また9月には長野県松本にある大妻神社と大妻氏居館跡の見学をして来ました。そして同窓会埼玉の恒例事業の文学歴史散歩は11月6日

コタカの精神をこれからも継承していきたい」とお話になりました。この4月から大学にはデータサイエンス学部が始まりました。女子大としては先駆けとなるこの新学部は、まさに「実技実学を身につけ、学校で学んだことが社会に生かせるように」として「世のため人のため、社会に貢献できる女性に」というコタカ先生の教えが反映されており、これから生き生きと女性にびつたりな学問領域であると思っています。来年4月からは人間関係学部が改組され、人間共生学部として生まれ変わります。これからも大妻コタカ記念会へのご支援と共に、大きく変わりゆく大妻女子大学へも熱い視線をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。

に桶川のさいたま文学館の見学と食事を催しました。ここでは埼玉の興味深い歴史を学びました。またレストランの美味しい食事をいただきながら会話ははずみ楽しい親睦会となりました。さて今年の総会は5月25日(日)です。例年通り仲町川鍋ビルの8階大会議室にて開催いたします。同窓生の楽しい交流と親睦の場所となりますことを願っています。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2025年 大妻同窓会埼玉の総会ご案内

会場へのアクセス



・JR浜東北線・宇都宮線・高崎線・埼京線
「大宮駅」東口下車・徒歩5分

会場案内

申込期限 5月10日まで

申込方法 同封のがきにてお申し込み下さい。

年会費 一、〇〇〇円

参加費 五、〇〇〇円

場所

仲町川鍋ビル8階
大会議室

〒330-1084
さいたま市大宮区仲町

2-60
☎048-641-5529

日時

2025年5月25日(日)
受付 10時~10時30分
開会 10時30分

※当日同窓会埼玉の年会費一、〇〇〇円も受け付けます。
※お振込の場合は、年会費一、〇〇〇円は12月末日までにお願いたします。



大妻同窓会埼玉 総会

—— 少人数でも楽しい同窓生の
交流と親睦の場所となりました ——

矢野 優子

2024(令和6)年5月26日(日)に、さいたま市仲町川鍋ビル8階大会議室にて、大妻同窓会埼玉の総会・懇親会を開催いたしました。

第一部 議事はすべて滞りなく承認され、2024年度の活動が進められることとなりました。

第二部の懇親会では、おいしい昼食をゆつくりと頂きながら、参加された方々の近況や大妻での学生生活の思い出話など伺いました。同窓生の年代はそれぞれではありますが、絶えず和やかな雰囲気につつまれ最後まで話題がつきませんでした。

そして、少人数でも楽しい同窓生の交流と親睦の場所になりました。それから最後に大妻の新・旧の校歌を全員で歌って、また来年にお会いしましょう。とお約束をして散会となりました。

ご参加くださいました皆様ありがとうございました。

そして今年度より再び会報「埼玉だより」を発行いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

それからまた今年も秋の恒例事業の文学・歴史散歩を予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。心よりお待ちしております。



「恥を知れ」の言葉の力に守られて

京村 まき子

令和六年五月二六日、久し振りに支部総会に出席する事が出来ました。

思えばコロナ禍の想像を絶する二年間が過ぎていました。

支部総会には時々、出席させて頂いていましたが、ほかの行事には失礼させて頂いていました。昨年の「母校訪問」の記事に心が動かされ、参加しました。支部会員の方々の温かい言葉かけに「学校はどう変化したのかしら」との気持ちで五十年振り余の市ヶ谷駅に向かいました。

懐かしい駅前から学校へ、街の変わり様や近所の変化にただ目を見張る様でした。校舎を訪問すると前面の白亜のビル。私が在学した当時の面影はどこにもありません。

各階の校舎を案内して頂き、充実した機態が配された教室に、今の学生の恵まれた環境を見学する事が出来ました。校内をゆっくり見学した後、学生食堂にて昼食を頂き、参加された方々と親しくお話をする場を頂きました。記念会会長さんにもお目にかかり、大学の今を伺う事も出来ました。

同窓会に
参加して

今年の総会の出席で皆様と再度お目にかかり、新たな話題や報告に楽しい時間を過ごす事が出来ました。

私自身は令和元年に夫を亡くし、娘夫婦と孫で東大宮と故郷で土日週末農業の日々を過ご

しております。地域での自治会活動から民生・児童委員も九期目となりました。交通安全保護者の会理事、高齢者の為の会の運営、会食サービスの会食ボランティア、東大宮自然と楽しむ会の三十余年に渡る交流会に参加し多くの方々と楽しんでおります。

平成九年度からの小・中学校勤務は不登校の生徒や児童、保護者の方々の相談員として多くの事を学びました。そんな時、大妻コタカ先生からの言葉『恥を知れ』を心に刻み、子ども達と向い合い努力して参りました。たった一言ではありますが、常に我が身を省みる心の支えでもあったと思っております。

母校のますますの発展と埼玉支部の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。

娘と私が共に学んだ大妻

高橋 和枝

五月二十六日(日) 大宮駅から徒歩5分の川鍋ビル様の会議室で、大妻同窓会埼玉の総会がありました。皆様からお話を伺い、美味いお弁当を頂き、楽しい時間でした。

昨年は文学散歩で、大学見学ツアーで立派な校舎と、普段は入れない所も見られて、感動しました。我が娘もこの校舎で勉強したのだと思うと、羨ましく思いました。その子も今年に結婚し、会った時には学食や市ヶ谷駅周辺の話に盛り上がります。

同窓生の皆様に会えるのを、毎回楽しみにしています。さまざまな分野での事柄が知れるので、勉強になります。いつも有難うございます。今後も活動に参加させて頂きたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

大妻にご縁をいただいて

分根 妙世

コロナウイルス感染拡大で世の中が一変しました。在宅を強いられ、毎日のニュースで目にするのは学校生活を制限される中学生や高校生、そして大学生でした。入学式はおろかキャンパスに通うことができず、自宅からリモートによる講義を受ける日々が続く中で孤独を感じる大学生がたくさんいることを知り、胸を締めつけられるような思いがしました。そんな時に「大妻女子大学は今、どうなっているのだろうか？」との思いがよぎり、ホームページを開きました。そこにはコロナ禍でも一人一人の学生に懸命に寄り添う暖かい思いにあふれていて、何かとこの危機を乗り越えていこうとの強い意志を感じました。その中の一つの取り組みがコロナにより困窮している大妻生への寄付金でした。私が何か力になれることはこれだと思い、協力させて頂きました。

同窓会に
参加して

そこから二十五年ぶりに母校とつながりました。大妻コタカ記念会(同窓会)会誌「ふるさと」が届き、久しぶりに母校について知ることができ、とてもうれしかったです。年齢を重ねると学生時代を懐かしく思うものでしょうか。共に学んだ学友はどうしているのか、母校にまた行ってみたい思いが急に沸きあがり、その勢いのまま大妻同窓会埼玉代表の矢野さんにお手紙を書きました。

そして迎えた2024年5月26日(日)、一人で緊張しながら

ら同窓会に参加しました。矢野さんが真っ先に声を掛けて下さいました。何度か手紙でやりとりはしていましたが、明るく暖かい先輩で安心することができました。前半の総会、写真撮影が終わると後半は食事をしながら歓談タイム。真面目な話題もあれば、皆で大笑いしてしまう楽しい話題もあり、堅苦しい雰囲気は一切ありません。大妻には指定のスーツがあり「市ヶ谷のカラス」と言われていたことなど私の知らないエピソードも知ることができました。とても年に数度しか顔を合わせる仲とは思えず、まるでご近所さん同士のような、そんな暖かい雰囲気を感ずることができました。初めて参加した感想を述べさせて頂くと皆さん真剣に耳を傾けて下さり、とても暖かい気持ちになりました。

今はインターネットが発達し、いつでもどこでも自由に人とつながることができるようになりました。それはとても便利なことですが、直接会って対話するということは人間の五感をフル活用して相手を身近に感じ、自身のことを身近に感じてもらうとても貴重な体験だと思います。そしてその体験は自身をより一層成長させる心の宝に変わると思います。年代は違えど共に同じ学舎で過ごした御縁をこれからも大切にしていきたいと思えます。

この度は大変にありがとうございました。



Thank
you!



令和6年度 大妻コタカ記念会 地方同窓会代表者会議
於. ホテルニューオータニ 2024年6月9日

大妻コタカ記念会法人設立50周年

記念式典・祝賀会に参加して

矢野 優子

昨年(2024年)6月9日(日)ホテルニューオータニにおいて大妻コタカ記念会法人設立50周年記念式典・祝賀会に、埼玉より小河原芳枝副代表と参加いたしました。

1974(昭和49)年に法人化され、その名前を永久に残しているようにとの考えにより、名称を「大妻コタカ記念会」とされ、めでたく記念すべき50周年を迎えられました。

第一部の記念式典では、大妻高等学校マンドリン部による演奏、それから大妻女子大学・大妻高等学校・大妻多摩高等学校合唱部によるミニコンサートがありました。美しい演奏に聞き入っていました。

第二部の祝賀会では、おいしい食事を頂きながら地方同窓会の活動についての紹介を拝見しました。それぞれの同窓会の特色があり活動内容に興味深いものがありました。

式典・祝賀会に参加して、あらためて大妻コタカ先生が生前に行ってきた活動がどれほど偉大なものだったのかを感じましたとともに、その活動を地方同窓会の皆様が着実に実行しているところに、埼玉も大変励まされる思いがしました。

祝賀会終了後に地方同窓会代表者会議がありました。短時間ではありましたが有意義な情報交換ができました。

大妻神社・大妻氏居館跡を訪ねて

9月23日(日) 長野松本へ

矢野優子

かねてより代表者会議に於て、大妻神社の例大祭に伺いたいとお願ひしていたところ、井上会長より、今年は5年ぶりに挙行されることのお返事をいただき、9月23日(日)、秋の一日を信州松本にある大妻神社と大妻氏居館跡を訪れることとなりました。参加者は、井上会長、高垣理事、櫻澤理事、千葉より2名、長野より4名の10名での参拝となりました。

大妻神社は、大妻太郎兼澄が祀られており、大妻コタカ先生、良馬先生はこの神社を大変大切にされていたそうです。年に一度は必ず訪れ、氏子の皆様とも深い交流があったそうです。コタカ先生が昭和39年に植樹された杉の木は天高く大きく育っていました。

大妻神社より歩いて10分程のところに、大妻氏居館址という大きくて立派な石碑がありました。周りは田畑が広がるのどかなところ。昭和12(1937)年に史跡と認定されたそうです。

さて大妻神社の例大祭は、宮司の祝詞、舞姫たちの雅な舞、その後舞台が境内に入ります。2台の舞台は祭ばやしの鳴る中、境内を駆け足で三往復します。めずらしい祭を見学しました。長い年月、氏子の皆様によって大切に守られてきたことに感動しました。

短時間の見学でしたが大変思い深い秋の一日を過ごすことができました。

このような企画、準備、手配等をして下さいました井上会長はじめ高垣理事、櫻澤理事に深く感謝申し上げます。



大妻神社にて 例大祭



大妻氏居館城址 石碑前にて

文学・歴史散歩に参加して

桶川さいたま文学館

小河原芳枝

令和六年度の文学・歴史散歩は、十一月六日(水)桶川さいたま文学館で行われました。当日、出席者は午前十一時桶川駅に集合。矢野支部長さんの案内で西口から徒歩五分の文学館へ。記念会会長井上先生もお忙しい中ご出席して下さいました。

最初に一階の文学展示室から見学しました。そこでは埼玉ゆかりの文学者の作品を映像で紹介しており、私はその中から①荻野吟子(花埋み)②堀保己(保己一の生涯)等々、以前読んだ本を思い出しながらヘッドホンをつけ聞く事ができました。また地下一階の「よみがえる音声」のコーナーでは、①沢沢栄一②金子兜太③森村誠一さん達のメッセージが流れ語りかけ、すぐそこにご本人がいらつしやるようで聞き入っていました。

見学の後は、館内にあるブリマカフェで美味しいランチを頂き楽しい一時を過ごしました。「次回またお会いしましょう」「お元気で」とお互いお声がけし桶川駅で散会致しました。



編集後記

「埼玉だより」49号を発行することができました。また、発行にあたり皆様方より近況報告をお寄せいただき役員一同大変嬉しく思います。昨年の猛暑から今年に入ると日本海側をはじめ大雪となり毎年厳しい生活を過ごされていくことと思います。一日も早く日常生活が送れるよう願っております。総会では皆様方とお話ができることを楽しみにしております。

2024年度 総会ご案内ハガキに返信をくださった方

新井公子 (鴻巣市)	京村まき子 (さいたま市)	中村文江 (春日部市)
飯野勢津子 (さいたま市)	久保要子 (鶴ヶ島市)	谷寿子 (鴻巣市)
石塚まみ子 (川口市)	栗田須とみ (さいたま市)	中山直枝 (行田市)
伊藤玲子 (さいたま市)	黒山郁子 (久喜市)	入野久子 (狭山市)
井上小百合 (小川町)	小佐藤美子 (さいたま市)	日藤井厚子 (鴻巣市)
岩崎宣子 (川口市)	佐野陽子 (毛呂山町)	堀松千鶴子 (越谷市)
白井朝子 (加須市)	塩田公子 (さいたま市)	宮沢千江子 (川口市)
江間早枝子 (北本市)	白鈴悦子 (さいたま市)	宮原尚江子 (久喜市)
小荻河原明美 (さいたま市)	小澤鈴子 (さいたま市)	栗柳澤優子 (さいたま市)
落合知恵子 (小川町)	関美由紀 (草加市)	矢野本美子 (さいたま市)
甲斐久美子 (川口市)	高口敬子 (日高市)	山本正美子 (伊奈町)
加藤雅枝子 (さいたま市)	高橋和枝子 (草加市)	岡田素子 (さいたま市)
河鍋万代子 (さいたま市)	高橋絹子 (寄居町)	吉岡敏子 (さいたま市)
川俣千幸子 (越谷市)	内久美子 (川口市)	吉田根世 (越谷市)
	村里美子 (春日部市)	

(敬称略)